



6月4日、3年看護医療類型の看護基礎の授業には兵庫大学大平曜子副学長が来られ、主に養護教諭の仕事ややりがい、役割について話をされました。『その中で看護の「看」という字は「手」と「目」の組み合わせであり目の上に手を置いて見るということである。何を看のかということとその人の数年後のことであったり、成長であったりする。』と言われたのが印象的で、それが養護教諭のやりがいにもつながっているという話でした。そして担任と違い全校生徒を相手にしていることも大きなやりがいになっているのではないかと話されました。丁度、本校では健康診断の真っ最中で身体計測だけでなく、内科、眼科、歯科、耳鼻科検診が6月末にかけて行われています。養護教諭はそれらを整理し、チェックの入った生徒には受診勧告を行い、健康保持の意識を高める役割を担っています。800人以上の規模であれば2人配置される養護教諭ですが、1人で保健室を管理し、体調不良を訴えてきた生徒の相手をし、適切なアドバイスを送ったり、担任や顧問に話ができないような内容の相談を受けたりと気を遣う仕事です。学校には必要な人材であり、こういった授業でいろいろな立場から人を支えることができることを知ることで、養護教諭を志す生徒が増えてくれることも嬉しいことだと思います。実際面談をしても何人かの生徒が養護教諭の資格を取りたいと言っていました。

週末に行われた県総体の各種目の結果です。

前号の最後でお伝えしましたが、6月2日から行われていた柔道は、男子団体3位女子団体2位という素晴らしい内容に加え、個人戦は女子が48kg級横山選手2位、57kg級増田選手と63kg級東嶋選手が3位という結果でしたが、男子は60kg級高橋選手(写真右)と81kg級菊川選手(写真左)が見事優勝を飾り、全国インターハイ出場を決めました。おめでとうございます。この後、県民大会(国体予選)、近畿ジュニア(日本ジュニア予選)とまだまだ大会は続くようなので、頑張ってください。また、男子81kg級長谷川選手、100kg超級神戸選手がそれぞれ3位に入賞。団体でも男女ともに総体での上位入賞は今までになくコロナ禍において練習にもかなりの制限のかかる中、お互いに切磋琢磨し続けてきた成果が実を結んだものと思われまます。今回の結果に満足することなく、自らの力を試してってください。お疲れ様でした。



女子バレーボールは強豪氷上高校と対戦。1セット目は浮足立ったところを攻め込まれあっけなく奪われたのですが、2セット目は持ち味である繋ぐバレーができ良いところが随所に見られました。優勝候補だけに厳しい戦いではありましたが、力は発揮してくれたと思います。男子バレーボールは、順当にベスト8まで勝ち上がり、迎えた市立尼崎高校戦。内容も厳しく、敗戦。課題の残る試合だったようです。春高予選に向け修正し頑張ってください。



女子ソフトボールは、西宮今津高校との対戦に勝利し、迎えた東播磨高校との3度目の勝負。昨年新人大会、春の東播大会共に敗れていただけに雪辱に燃え、2-0で勝利を収めベスト8に。しかしながら東播大会では快勝した西脇高校にベスト4を賭けた勝負で敗戦。不運もあったようですが、これが高校生の勝負ということで少し残念な気持ちの残る大会だったようです。しかしながら諦めなければチャンスは来るということも実感できたと思いますので、1.2年生はこの悔しさを胸に県民大会新人大会に向け頑張ってください。但馬での大会だったために1泊して臨んだ大会でした。お疲れ様でした。

バドミントン、男子ダブルスの上位決戦及び、男女のシングルスが行われました。男子ダブルスでは、中岡・渡辺ペアが準決勝まで勝ち上がり、あと一つ勝てば全国大会出場ということで村野工業のペアに敗戦。悔し涙を流しました。女子のシングルスは、2名が出場。ともに園田学園高校と対戦。1セット目を奪い好調な出だしでしたが、2セット目、3セット目と地力を見せつけられ、接戦を落とし、敗退。女子ダブルスでベスト16の3年石田選手は最後





までよく粘りましたが残念でした。一方の男子はベスト16に4名が残り期待が持たれましたが、すべての対戦が村野工業との対戦となり、惜しいところでセットを奪えず敗退。全国大会出場の夢かなわず終了。1.2年生に思いを託すことになりました。バドミントンもシャトルが風の

影響を受けるため、換気の難しい室内競技ですが、定期的な換気の時間と、窓を開けカーテンを閉めるなどの工夫をし、何とか無事に大会を終えることができました。それぞれの競技で感染対策に気を遣われた先生方の努力のおかげで今年は県総体が開催できたと思います。先生方のご尽力に感謝いたします。また生徒、保護者の皆様の協力も忘れてはなりません。大会出場できる環境を整えるという一番基本的なところで苦勞されたことと思います。ご協力に感謝申し上げます。今後、陸上の近畿大会、水泳の県総体とまだまだ大会は続きますし、その間にも本校の文化発表会があります。まだまだ気を緩めることはできませんが、引き続きの感染症対策へのご協力をお願い申し上げます。

1学期も中盤を過ぎ県総体も一区切り。部によっては1.2年生への引継ぎが行われているところもあると思います。文化部は文化発表会で区切りをつける部もあるようです。3年生はいよいよ進路に本腰を入れなければならない時期にきました。専門学校などは6月初旬からエントリーが始まる場所もあります。今年は大学もオープンキャンパスを数回に分けて実施しており、HPで申し込み方法などを確認して、是非参加して自分の目で確かめて進学先を決めてほしいと思っています。面談でも大学や就職に関して志望動機を聞くと十分な回答してくれる生徒は少ないです。なぜその大学を希望するのか、なぜその職場を希望するのか対象となる大学や職場のこともしっかり調べて、自らの動機をしっかりとしたものにしてほしいと思っています。自らの進路を自らの意思で決めて決定していくことが、今後しんどい時が訪れても頑張れる源になると思うからです。文化発表会の準備で忙しくなりますが、そういったこともしっかりと考えておいてほしいと思います。よろしくお願いいたします。